

【天気予報及び概況】

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。降水量は、平年並または少ない見込みです。

	平均気温(℃)	最高気温(℃)	最低気温(℃)	降水量 (mm)
2024 年	7.9	11.2	4.4	53.0
2023 年	8.5	12.5	4.9	27.5
2022 年	7.1	10.4	3.6	34.0
1991～2020 年	8.3	11.8	5.0	64.5

※気温については、1ヶ月の平均値（気象庁）

【作物】

1 麦（裸麦・小麦）

(1) 雑草防除

播種直後に除草効果が低下した場合や、ヤエムグラ等の広葉雑草などが生育期に残っている場合は、次の薬剤を使用し、雑草防除に努めてください。

薬剤名	使用時期	10a 当たり		使用回数	【適用雑草】 使用上の注意など
		使用薬量	希釈水量		
ハーモニDF	播種後～ 節間伸長前	5～10g	50～100ℓ	1回	【1年生広葉雑草、スズメテッポウ】 隣接作物に飛散しないよう特に注意する。使用器具は使用後に消石灰500倍による水洗いを行う。
エコバートフロアブル	節間伸長開始期まで(但し収穫45日前まで) (広葉雑草2～4葉期、ヤエムグラ2～6節期)	50～100mℓ	100ℓ	2回以内	【1年生広葉雑草】 ヤエムグラに効果が高い。展着剤を加用せず、麦踏み後の数日間は避ける。 イネ科雑草には効果がない。

(2) 排水対策の徹底

湿害防止のため、圃場の周囲及び圃場内に3～5m間隔に排水溝を設置し、表面排水を良くしてください。特に、排水溝は必ず圃場の外まで導いて、雨水が排出されるようにしてください。

(3) 麦踏み

根の浮き上がり防止、分げつや根張り促進の効果があります。麦の3葉期以降で土壌が乾いている時に、年内1回の麦踏みを実施してください。 <松本>

【野菜】

1 さといも

(1) 土づくり：いもの肥大は土壌が粘軟で深く、適湿を保持する圃場が適します。

ア 年内に完熟堆肥の投入を終了してください。

イ 投入量の目安は、完熟堆肥2t/10a または発酵鶏糞500kg/10a を施用し、深耕して3月から始まる定植までに、作土層が一定の深さになるように丁寧に耕耘してください。

(2) 種芋の貯蔵

ア 圃場選定

過去に栽培した圃場を選定する場合は、生育期間中、疫病の発生がなく、【乾腐病・軟腐病】による芋の腐敗が見られない排水の良い圃場を選定してください。

イ 貯蔵方法

①圃場貯蔵

「畝中」で貯蔵する場合は、株の上を籾殻等で被覆し覆土を行い、その上から不織布等で被覆するなど防寒対策を十分に行ってください。

②生け込み貯蔵

いもを傷をつけないよう丁寧に掘取り、腐敗や割れ芋の有無を十分に確認し、風当たりが少なく、排水の良い場所で貯蔵してください。

(3) 低温の対応

初冬から春までの長期間で気温の変化があります。それに応じて覆土を加減し、適湿を保つことが大切です。 <徳永>

2 やまのいも

(1) 土づくり

ア 年内できるだけ早く、完熟堆肥1.5t/10a を施用し土壌混和してください。

イ 稲わらを切り込んでいる場合、わらの腐熟促進や線虫対策として石灰窒素(40～60kg/10a)を施用してください。

(2) やまのいも種芋の選別・貯蔵

ア 種芋の選別

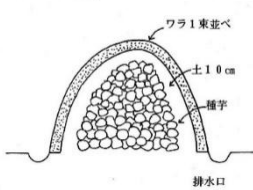
やまのいもの種芋は系統の良い丸い400g程度のものを選んでください。

イ 種芋の貯蔵

排水の良い場所を選び、芋を60cm程度に積み上げます。乾燥防止のために10～15cmの覆土をし、その上を稲わら等で覆います。

※倉庫でコンテナに入れたまま貯蔵すると芋が乾燥し、青カビ病の発生や発芽揃いが悪くなる場合があるので注意してください。 <三谷>

《種芋の貯蔵法》



4 ソラマメ

(1) 摘芯・誘引

親茎が7節程度に伸びた頃、生長点の柔らかい部分を摘心し、側枝の発生を促します。株元からの強い側枝が4～6本程度確保でき次第、支柱を設置し誘引作業を行います。誘引して株元に光を入れることで同化能力が高まり、莢の肥大が促進されます。

(2) モザイク病

モザイク病ウイルスは、アブラムシによって媒介されます。アブラムシの発生を確認した場合は、アドマイヤーフロアブル4,000倍やモスピラン顆粒水溶剤4,000倍等で防除してください。 <徳永>

【果樹】

1 温州みかん

収穫は、果実品質のバラツキを避けるために着色が早い樹冠外周、上部から分割採収し、果実を丁寧に扱って腐敗果の発生・混入を防いでください。

採収後は、着色促進、浮き皮・腐敗の発生防止のため、減量歩合2～3%を目安に予措します。

2 中晩柑類

(1) いよかん

樹冠外周、上部の着色の早い果実から、分割採収を開始します。着色が遅れる内部や裾成り果は分けて収穫、貯蔵することで、出荷時の果実品質のバラツキを抑制しましょう。収穫した果実は減量歩合3～5%を目安に予措した後、本貯蔵を行います。

貯蔵の目安は、1～2月出荷では温度8～9℃、湿度85%。3月出荷では温度6～8℃、湿度80～85%です。換気にも注意。

(2) 紅まどんな（愛媛果試第28号）、甘平

紅まどんなは、果皮障害の発生に注意し、JAの出荷規格に従って収穫、出荷を行ってください。甘平は、先月に引き続き果実への袋掛けやサンテ被覆（8分着色以降）を行います。

3 その他

収穫終了後は、耐寒性の向上と翌春の花芽分化を促すために、液肥の葉面散布を積極的に行いましょう。また樹勢がよい園では、12月中旬～1月中旬頃（厳寒期を避ける）、マシン油乳剤（95%）45倍を散布し、越冬害虫の防除に努めてください。 <三谷>

【花き・花木】

1 ラナンキュラス（球根養成栽培）

(1) 苗床での追肥

本葉出葉後、葉色が薄くなり始める12月上旬頃に、くみあい液肥2号を400倍で2～3回追肥してください。

(2) 本圃準備・定植

定植期は12月下旬です。圃場のpHが適正值（6.5）より低い場合、苦土石灰を100～120kg/10a 施用し、pHを矯正します。

また、連作圃場や土壌消毒した圃場では土壌がしまり固結気味となります。排水不良は後半の立枯れ等の多発要因となるので、完熟堆肥等を投入し土づくりに努めてください。

元肥は、ようりんを60kg/10a 施用し、120cm幅で畝立てして定植します。定植30日後の1月下旬頃に、組合化成2号を60kg/10a 追肥で施用します。

2 アネモネ

害虫防除にベストガード水溶剤2,000倍を散布します。

<佐津間>

【畜産】

○効果的な消毒をおさらいしてみましょう。

北海道で10月21日に今シーズン初となる家さんでの高病原性鳥インフルエンザが発生しました。また、松山空港と国際線の往来がある台湾では、10月にASFが発生する等、家畜防疫がより重要になっています。ご自身の経営を守るため、再度、効果的な消毒方法を見直してみましょう。

種類	製品名（成分）	散布・希釈	注意事項
アルカリ	消石灰（水酸化カルシウム）	0.5～1kg/n㎡	酸性消毒薬と混ざると中和し効果減、2週間～1か月おきに追加散布が有効
逆性石鹼	アストップ（塩化ジデシルジメチルアンモニウム）	有効成分として0.01% アストップの場合、1,000倍希釈	水温5℃以下や有機物混入で効果減、冬季は用法範囲内で高希釈推奨、定期的な交換が有効

○異状に気付いた場合は、迷わず早期に通報を！（以下、農水省HPより）

家畜伝染病予防法により、口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の患畜又は疑似患畜については、家畜の所有者に対して手当金および特別手当金が交付されます。一方で、家畜伝染病の発生又はまん延を防止するために必要な措置を講じなかった者等に対しては、手当金及び特別手当金の全部又は一部を返還させることとされています。不交付又は返還の対象者は、以下の状況を総合的に勘案して決定されます。

（1）飼養衛生管理の状況 （2）早期通報の実施状況

（3）まん延防止への協力等の状況

<織田>